

5-21 静岡県富士郡芝川町における自噴量等の観測

Observation of Discharge Rate at Shibakawa in Shizuoka prefecture.

地質調査所
Geological Survey of Japan

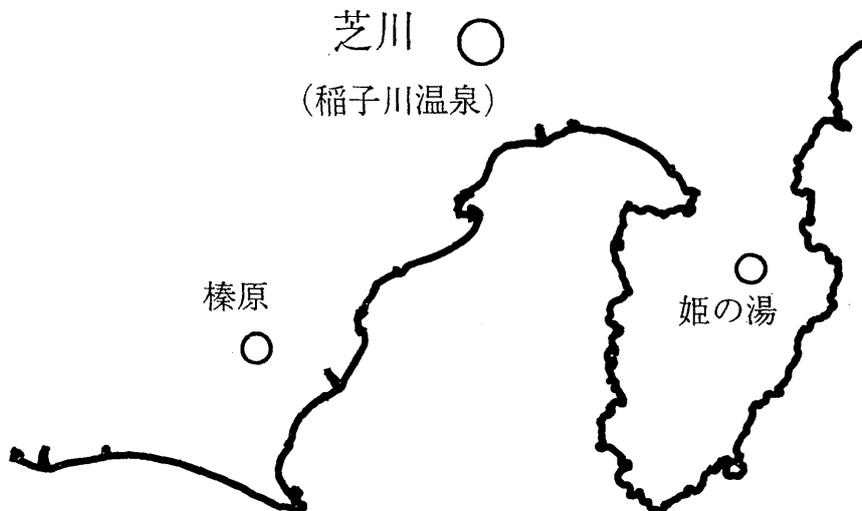
静岡県富士郡芝川町稲子川温泉において、1992年6月より自噴量・水温・電気伝導率の測定を行った。

稲子川温泉は1990年に芝川町によって掘削されたCaCl₂、NaClを主成分とする温泉であり、その位置は第1図に示す。観測データは10分毎に収集されているが、本報では1時間平均値を、榛原および姫の湯観測井で観測された気圧・降水量と共に第2図に示す。

本温泉は掘削深度が1003mと深く、ストレーナは500m以下に設置されており、300m付近に存在する地下水とは明らかに異なる水質を示し、降雨の影響も小さい。また、この温泉の東約1kmには芝川断層があり、地殻変動による影響が観測されやすいと期待される。

第2図に示すように、1993年6月末までは安定したデータが得られていたが、その後、自噴量が大きく3回増加し、それに対応して水温も上昇した。これらは降水量によるとは考えにくく、地震による変化の可能性もある。第2図には $M-2 \log D > 1.2$ (M:マグニチュード, D:震源距離)となる地震を示した。なお、電気伝導率の3, 4月の増加はセンサーの洗浄作業によるものであり、1993年には計5回、採水して水質分析を行ったが、有意な変化は見られなかった。

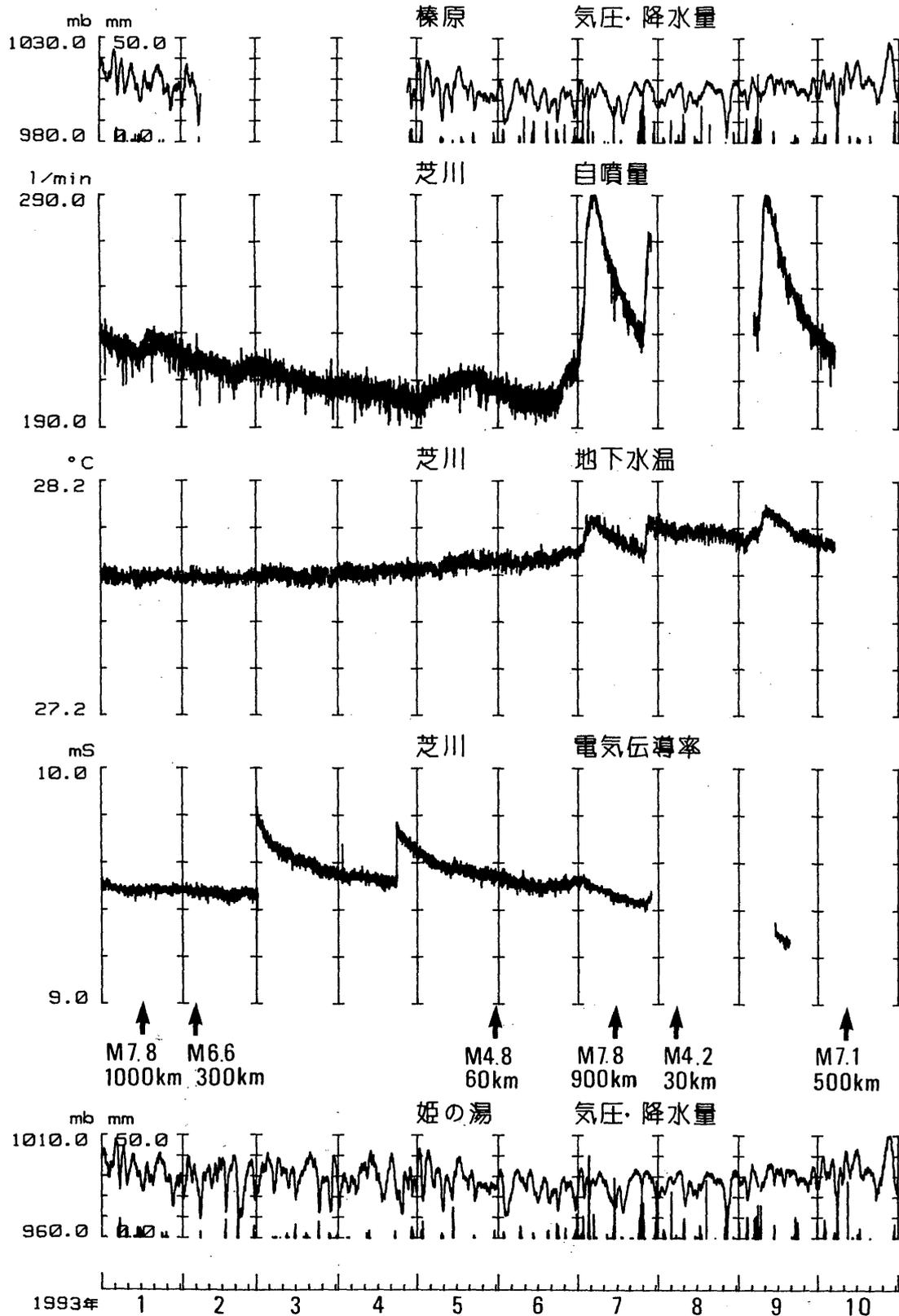
(高橋 誠, 佐藤 努)



第1図 観測井位置図

Fig.1 Locality of the groundwater observation sites.

芝川自噴量等テスト観測結果



第2図 芝川（稲子川温泉）における自噴量・水温・電気伝導率観測結果（1時間平均値）

Fig.2 Variation of discharge rate, temperature and electric conductivity at Inakogawa hot spring in Shibakawa.